

# 知事記者会見の概要

日 時：令和2年11月26日(木) 10:00～10:27

場 所：502会議室

出席者：知事、総務部長、広報広聴推進課長

出席記者：15名、テレビカメラ5台

## 1 記者会見の概要

広報広聴推進課長開会の後、知事から1件の発表があった。  
その後、代表・フリー質問があり、知事が答えて閉会した。

## 2 質疑応答の項目

### 発表事項

- (1) 山形県運転免許証自主返納者等サポート事業について

### 代表質問

- (1) 新型コロナウイルス感染症への対応について
- (2) 「GoToトラベル」「GoToイート」について

### フリー質問

- (1) 代表質問に関連して

<幹事社：朝日・荘内・NHK>

## ☆報告事項

### 知事

皆さん、おはようございます。

新型コロナウイルス感染症ですけれども、全国的には第3波の様相を呈しております。山形県内での状況と対応について申し上げたいと思います。

これが、県内の状況であります(補足:感染状況のグラフのフリップを提示)。まず、4月に第1波が発生したことは、皆さんご案内だと思っております。その後、2か月間は、感染者は確認されませんでした。7月に入って散発的に確認されまして、その都度その都度、封じ込めに全力を挙げてまいりました。それで山形県内では、第2波は発生しませんでした。

そして、ところがですね、10月に入り、また散発的に確認されるようになり、11月の8日頃からは、連日のように感染者が確認をされまして、全国の第3波の影響を受けているのかどうかわかりませんが、これからは、本当に予断を許さない状況だと捉えているところです。第3波の兆しかもしれないというようなことで、大変警戒をしなければならぬというふうに思っているところでございます。

それで、「山形県における新型コロナ対応の目安」というのを県民の皆様にお示ししてございますけれども、これのどの辺にあたるかという、どのレベルなのかということも申し上げたいと思います。

レベル2に踏みとどまっていたというふうに思っておりましたが、実はですね、感染経路不明者数が今2件ございます。それから重症入院患者数が昨日までは0だったのですが、1名になりました、重症になりました。それから1週間あたりの新規感染者数は10名ということでありまして、60才以上の入院患者数は1名ということでありまして、また、感染の地域ですけれども、1つのブロックではなくて、結構広範囲のブロックに、広範囲に渡っております。それから、隣県や全国の状況を見ますと、第3波ということでありまして、増加傾向ということで、全体的にやはり判断をいたしますと、レベル3に該当する状況だというふうに思います。レベル3の【警戒】というところに本県も入ったというふうに認識をしております。

それで、県民の皆さん、事業者の皆さんに、感染拡大防止について、2点お願いをしたいと思っております。

1点目でありまして、県内での最近の感染事例を踏まえ、感染が拡大している地域への移動はできるだけ控えていただき、必要があつて移動する場合には、移動先で「新しい生活様式」を徹底していただくようお願いいたします。また、県外の移動先では、飲酒を伴う会合を控えていただくようお願いいたします。

2点目は、基本的な感染防止対策として、県民の皆様には、こまめな手洗い、マスクの着用、適切な換気、身体的距離の確保、3つの密を避けるなどの「新・生活様式」を実践して

いただくよう、あらためてお願いをいたします。特に、会食時におきましては、少人数又は短時間でいい、会話の時にはマスクを着用するなど、感染リスクを下げる工夫をお願いいたします。

また、事業者の皆様には、改めて業種別の感染拡大予防ガイドラインの点検と取組みを徹底していただくほか、換気についても室温を急激に下げない工夫をするなど、十分ご留意いただきたいと思います。

新型コロナウイルスは誰でも感染しうる病気であります。感染された方やそのご家族、医療従事者などに対する心無い言動や SNS での書き込みなど、差別や偏見、いじめ、そういったことは決して行わないようにしましょう。

また、医療従事者の方々をはじめ、保育や福祉サービス、運送事業者など県民生活を支えていただいている皆様のご尽力に対し、改めて深く敬意を表しますとともに、心から感謝を申し上げたいと思います。

感染された方々には、一日も早く回復されるよう願っております。

私から発表が 1 点だけございます。運転免許証自主返納者についてでございます。

12 月 1 日から山形県運転免許自主返納者等サポート事業に関する協賛店からの特典やサービスの提供を開始いたします。

この事業は、自動車の運転に不安を持つ高齢者に対し、運転免許証を自主返納しやすい環境をつくるため、自主返納者に対する特典やサービスの提供を充実させて、高齢者の交通事故防止等を図るものであります。9 月 16 日から協賛店の募集を行いましたところ、多数の申請がありました。県内 468 か所の店舗でご協力いただけることとなりました。

協賛店には、バスやタクシーのほか、スーパーやホームセンターなど、交通や買い物などの利便性に配慮した、さまざまな特典やサービスをご用意されております。

詳しくは県のホームページをご覧ください。か、免許更新や自主返納を取り扱う総合交通安全センターや各警察署にもチラシや協賛店の一覧表を備え付け、必要な方に配付することとしておりますので、是非ご利用いただきたいと思います。

また、今後も引き続き協賛店の募集を行っておりますので、事業者の皆様には、このサポート事業にご賛同いただきますようお願いいたします。私からは以上です。

#### ☆代表質問

##### 記者

クラブ幹事の朝日新聞です。三宅と申します。用意した質問もあるのでありますが、まず、最初に今、知事のご発言で、「警戒レベル 3」になったというご認識がお示しになられたわけですが、これは今後どのような県の手続きを経てですね、正式にというか、「3」ということがホームページに出して、県内に告知されるということになるのでしょうか。

知事

はい、そうですね。先般は医療専門家会議のご意見をお伺いしまして、もう、2.5とか、レベル3の入り口に立っている、というようなご意見を頂戴しておりまして、あとはもう、重症者が出るか出ないか、そして感染経路不明者の方が出るか出ないか、そこだけだったのであります。それでも重症者が出ましたので、これはもう、そういった専門家の皆さんのご意見も頂戴しておりましたので、総合的に判断させていただきました。

記者

それはもうレベル3になって、ホームページ上でも、もうすぐレベル3にしますよと。

知事

そうですね。はい、そういうことになります。

記者

この重症者の方については、これは言っているのか悪いのかちょっと判断に困るのですが、症例のいくつの方で、どこの病院に、どこの病院っていうのは何々地域の指定病院に入院されている方が重症者にいつ変わりましたということはいかがなのでしょうか。

知事

それについては後ほど担当のほうから申し上げさせていただきます。

記者

分かりました。ではすみません、用意していた質問のほうに移らせていただきます。

先週からいろいろ動きがありますけれども、「GoTo トラベルキャンペーン」と「GoTo イートキャンペーン」についてお伺いいたします。先週23日、知事会の提言にもありましたけれども、「GoTo トラベルキャンペーン」で新型コロナウイルスの感染拡大地域の一部除外というようなことについてですね、実際に札幌と大阪が除外するという動きが出ているようですけれども、現段階では目的地ということですのでけれども、出発地としてもですね、考えるべきだという意見も一部にあるようです。そのようなことも含めて、知事のお考えをお伺いできたらと思います。

それから「GoTo イート」については26日本日が、本県のですね、チケットの発売日ということになっております。このチケットの発売を、踏み切ったということも含めて、それからこの事業の登録飲食店数の、数の現状とかですね、今後の経済に与える影響、そして感染防止対策なども講じていかれると思うのですけれども、この辺りについて知事のお考えをお聞かせください。よろしくお伺いいたします。

知事

はい、分かりました。それではお答えいたします。昨日、県内の感染状況等を確認し、GoTo キャンペーン事業の運用見直しに関する検討を行うため、急遽、新型コロナウイルスの危機対策本部の本部員会議を開催いたしました。

まずは「GoTo トラベルキャンペーン」について申し上げます。「GoTo トラベルキャンペーン」から感染拡大地域を除外することにつきましては、一昨日 11 月 24 日に、政府が、札幌市、大阪市の一部除外を決定したと承知をしております。

「GoTo トラベルキャンペーン」の運用見直しにあたっては、利用者・事業者双方ともに混乱の生じないように、また、キャンセルなど負担が生じる場合にも、政府においてしっかりと対応していただきたいというふうに考えております。

感染拡大防止と地域経済回復の両立を図っていくことが大変重要でありますので、県内を訪れる旅行者の皆様には、「新しい生活様式」や「新しい旅のエチケット」を着実に実践していただくなど、感染防止に努めていただきながら、安全・安心で楽しい旅行をしていただきたいというふうに思っております。

また、県内の皆様や事業者の皆様には、感染防止対策を徹底していただいて、おもてなしの気持ちでお迎えしていただきたいというふうに思っております。

それから「GoTo イート」について申し上げます。「GoTo イートキャンペーン」につきましては、やはり一昨日の 24 日に、農林水産省から「食事券の発行・販売の一時停止」や「付与されたポイントの利用を控える旨の呼びかけ」について、都道府県に対して検討の依頼があったところです。明日 27 日の 10 時まで検討結果の回答を求められているところであります。

本県の現在の感染状況からみて、現時点では「食事券の発行・販売の一時停止」などが必要な状況にはないとの考えを農林水産省に伝え、農林水産省において最終的な判断を行うよう求めること、そして「GoTo トラベル」については、現段階では政府に除外協議を行う状況にはないということを確認したところでございます。

本県の現在の感染状況ですが、各指標の水準が全国の中で比較的低い水準にありまして、飲食店でのクラスター発生も認められておりません。それで現時点ではいずれの対応も必要な状況にはないと考えておりまして、その旨を農林水産省へ回答いたします。

県内の「GoTo イートキャンペーン」食事券の発行事業につきましては、農林水産省から県内で委託を受けた株式会社フィデア情報総研等からなるグループが事業を実施することとなっております。本日からヤマザワ全店と一部の郵便局で、ヤマザワ全店 41 店舗ございます。それから一部の郵便局 48 郵便局で食事券の販売が開始されるとのことでございます。

登録飲食店につきましては 11 月 24 日午後 6 時時点で 1,156 店と聞いております。また現在申請受付中のものについても、順次追加登録予定と聞いているところであります。

ちなみに申請受付をしているのは 1,457 件、全部の合計ですね。そういう件数だと聞いております。

県内の飲食店の状況について商工団体への聞き取りによりますと、「夜はほとんどお客が入らないことから売上が戻っていない」といったところが多くて厳しい状況が続いております。また、「忘年会・新年会の予約が入ってこない」など、年末年始に向けては更に厳しくなるものと認識をしております。先日の、23 日の全国知事会におきましても、私から、飲食店等に対する経営支援が必要であり、そのための自治体への緊急的な財政支援を政府に要請したところでございます。

「GoTo イートキャンペーン」の利用にあたりましては、1 つには飲食店の皆様には、業種ごとのガイドラインの遵守をはじめ、パーティションの設置やテーブルの配置の分散など、感染防止対策を徹底していただきたいと思います。また、利用者の皆様には、少人数、短時間での会食や会話の際のマスク着用など、「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」の実践をお願いいたします。

県としましては、感染防止を図りながら出来る限り県内経済を回していくことが大事だと考えておりますので、県民の皆様にも、今回のキャンペーンをご活用いただきますようお願いいたします。以上です。

記者

ありがとうございました。今、お答えいただいたのは主に昨日の会議の段階でのご判断かと思うのですが、先ほどおっしゃられたレベル 3 に 1 段階上がりますということを受けて、今のおっしゃられたご判断が今後変わるというような可能性はございますか。

知事

そうですね、状況を見ながらだと思っています。どんどんと感染者の方がですね、確認されていけば、また随時見直すことが必要かというふうに思います。

記者

分かりました。じゃあ幹事社からはこれで。あと皆様からお願いします。

☆フリー質問

記者

NHK の藤井です。警戒レベル 3 についてなのですが、重症者の数が大きな指標の 1 つだと思いますが、これはいつレベル 3 になったのですか。

知事

重症者が、中等症者の方がなって。

記者

いや、総合的な判断だと思いますけど、いつレベル3になったんですか。

知事

今日です。

記者

今日レベル3になったと、わかりました。

あとですね、レベル3になって、対応策が変わると思うのですが、知事のおっしゃったことはこれまでどおり移動先、県外への移動を控えてと、感染拡大地域への移動を控えてというのと、県内の飲酒の会合を控えてということをおっしゃいましたけども、これ、レベル3になることで、対応策はどう変わるのでしょうか。

例えば、例としては、高齢者は特に気をつけるように呼びかけとか書いてますけども、そういった呼びかけはなかったもので、その辺はどうでしょう。「GoToイート」も今日から販売が始まって、NHKでも取材してますけども、結構各地でお年寄りが並んでいます。それは飲酒・会合を控えてという一方で、そういったお年寄りの方々が「GoToイート」で購入してですね、飲食店へ行くってことは十分考えられますね。その辺について、呼びかけはあるのでしょうか。

知事

はい、わかりました。実はレベル2の時からですね、レベル3を見据えた呼びかけをしておりました。ですから、もうすでにレベル3の呼びかけをしていたということになるかと思っております。が、今、記者さんのおっしゃったようにですね、それ以上に、やはりここに書いてある例として、高齢者や基礎疾患のある重症化リスクの高い方に対して、より慎重な行動を呼びかけるということと、感染が発生した施設と同様の業態の業界団体及び事業者に対し、ガイドライン遵守の徹底を依頼するということが例示としてありますので、そういったことをこれからですね、しっかり呼びかけたいというふうに思います。

記者

そういったことというか、具体的に呼びかけはあるのでしょうか。なので、今日レベル3になったんですよね。

知事

そうです。今日、なるべく早く皆さんにお知らせしなければならないというふうに考えまして、今ですね、レベル3になりました、ということをお知らせしました。

それですね、報道監のほうからまた改めて呼びかけはさせていただきますけれども、私からはレベル3になったということ、それから感染拡大地域への移動は慎重にということをお願いしました。それから移動先での「新・生活様式」を徹底していただきたい、また飲食を伴う会合は控えていただきたいということをお願いしました。

そして、この例に出ておりますけれども、まさにですね、高齢者や基礎疾患のある重症化リスクの高い方々に対しては、より慎重な行動をしていただきたいというふうに思っております。あと、施設というと、クラスターは今発生はしておりませんので、このところはまだそこまでは申し上げなくてもいいのかなというふうに思っております。

記者

もうちょっと、これで終わりにしますけど、もうちょっと具体的に知りたいんですよ。「Go To イート」で、今日、例えば食事券とか買ってる高齢者の方とかいますよね。そういった人たちに対してどういう呼びかけが必要なのか、買った方がいいけれども、飲食店へ行きまますよね。そういう人たちに対してはどういった行動を取ってほしいと知事はお考えですか。

知事

そうですね、高齢者の方、そして基礎疾患のある方ということ、やはり重症化しやすい、リスクが高いということが言われておりますので、飲酒を伴う会食・飲食ということではできるだけ慎重に行っていただきたいと思います。

お昼のといえますか、日中は飲酒を伴わないと思いますので、日中に関してはそこまで、特段ですね、注意というようなことまでは申し上げなくてもいいのかなというふうに思っておりますが、飲酒を伴う飲食・会合、そこはやはり慎重にさせていただければと思います。

記者

YTSの荒木と申します。本日レベル3になったと、重症化の方が1人いらっしゃると。これはこれまで入院されている方が重症化したということなのか、本日新たに重症の方が確認されたということなのか、どちらでしょうか。

知事

最近入院された方で中等症から重症になったというふうに聞いております。重症で入院されたのではなくて、入院されていた方が重症になったというふうに聞きました。

記者

具体的に、例えば集中治療室に入ったとか、人工呼吸器をつけたとか、その辺。

知事

ECMO(エクモ)は使用していないというふうに聞いております。

記者

人工呼吸器をつけたということもないでしょうか。

広報広聴推進課長

細かいところは会見が終わり次第、後ほど担当課のほうで説明させていただきます。

記者

すいません、もう1点、「GoToイート」の食事券に関してですね、当初、国のほうで人数制限、「4人以下」ですとか、具体的にですね、各知事に検討するよう求めていたと思うんですけども、知事はできるだけ少人数でと、それから短時間でというお話もされてますけれども、改めて食事券に関して人数制限は求めないというそのお考えの理由について、ちょっとお聞きしたいんですけども。

知事

そうですね、そこは本県の今の感染状況では、そこまでは求める段階ではないというふうに思っております。

記者

ありがとうございます。

記者

さくらんぼテレビの今野と申します。よろしく申し上げます。「Go Toイート」について、改めて期待することを教えていただいてもいいですか。

知事

はい。新型コロナウイルス感染症がですね、発生して、第1波は乗り切りましたけれども、第2波はありませんでした。それで、第3波の兆しが見えているかどうかというような段階だと思っておりますけれども、特に本県の経済は大変深刻な状況にあると思っております。

その中でも特に飲食店がですね、大変な状況にあるというふうに思っておりますので、政府の事業であります「GoToイートキャンペーン」、これはですね、やはり感染防止対策をしっかりと講じながらでありますけれども、飲食店の景気といいますか、お客さんが増えて、そして経済が回るようになる、飲食店が立ちゆくようになるということを大いに期待しているところでございます。

ただ、本当に感染拡大防止、これをしっかりと店舗のほうも、また利用者の皆様もしっかりと守っていただきながら楽しんでいただきたいというふうに思います。

記者

ありがとうございます。